

業務名（業務コード）		搬入確認登録（システム対象内保税運送）（BIN01）										条件	コード	入力条件／形式		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	線1	線2									
1		入力共通項目		an	398			M								
2		保税運送申告番号等	OLT	an	11			M								
3		搬入開始年月日	IDT	n	8			M								運送開始年月日 ≤ 搬入開始年月日 ≤ システム年月日であること
4		搬入開始時刻	ITM	n	4			M								搬入開始年月日時刻 < 搬入終了年月日時刻であること
5		搬入終了年月日	EDT	n	8			M								搬入開始年月日 ≤ 搬入終了年月日 ≤ システム年月日であること
6		搬入終了時刻	ETM	n	4			M								搬入終了年月日時刻 ≤ システム年月日時刻であること
7		無料期間適用表示	ALC	an	2			C								航空会社コード (1) 保管料の無料期間を適用する場合は、航空会社を入力 (2) 無料期間を適用している保税蔵置場の場合で、他空港向一括保税運送された貨物の場合は、必須入力
8	18	AWB番号	AWB	an	20			M								
9	*	到着個数	APS	n	6			C								(1) 発送個数と到着個数が異なる場合に到着個数を入力 (2) ULDの場合は、チェックしない (3) UDA業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
10	*	特殊貨物記号	SPC	an	3			C								SPC（特殊貨物）コード (1) ULDの場合は、チェックしない (2) UDA業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
11	*	事故貨物	DMG	an	5			C								事故コード (1) 複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 (2) 税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力 (3) 税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由 (4) ULDの場合は、チェックしない (5) UDA業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
12	*	ロケーション	LOC	an	80			C								(1) 以下の形式で入力 ロケーション、符号「,」、個数 例) ABC, 個数 ①ロケーション：3桁以上の英数字 ②個数：6桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること (2) 特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（3桁）、符号「,」、個数 例) VAL（個数の省略可） VAL, 個数（複数ロケーション入力可） VAL/ABCD, 個数（「/」以降は自由入力） (3) SP貨物の場合は、先頭2桁に「SP」を入力 例) SPX（3桁で入力） (4) 特殊貨物ロケーションコードは、5種類以内であること (5) スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が80桁以下であること。 (6) ULDの場合は、チェックしない (7) UDA業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可 (8) 他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可
13	*	手作業／保留表示	MSA	an	1			C								(1) ロケーションを手作業で管理する場合は、「M」を入力 (2) 貨物が到着しなかった場合は、搬入保留の旨「P」を入力 (3) ULDの場合は、チェックしない (4) UDA業務で仕分けられた貨物の場合は、「M」は入力不可 (5) 他所蔵置場所への搬入の場合は、「M」は入力不可